業況は改善傾向にあるが、経常利益は依然としてマイナスで推移。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和8年4～6月実績と令和8年7～9月期見通しについての調査結果(回答数84社、回答率84%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向は前期と比較しやや改善された。業種別に見ると、サービス業は▲43%から▲22%と大幅に改善、建設業のみわずかにマイナスで推移している。売上は建設業以外の3業種で前期と比べて改善されており、特に製造業で▲44%から8%と、大幅な改善が見られた。仕入単価について、3業種で上昇しており、中でも製造業は75%から100%と大幅に上昇した。全産業の業況は改善の兆しは見えるが、経常利益を見ると▲38%から▲44%と悪化。前回調査より売上は改善されているものの、仕入単価・材料価格上昇の影響が強いことがうかがえる。

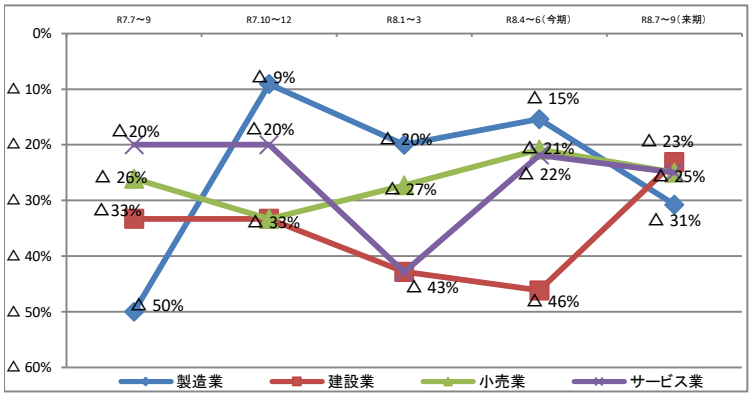
新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の17%、来期設備を実施予定の企業は18%であった。

経営上の問題については、やはり材料価格・仕入単価の上昇が最も多い。その他の問題点については、サービス業以外の3業種

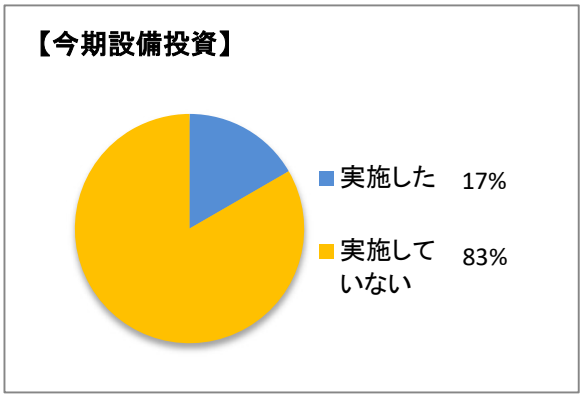
◆業況ＤＩ値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 25%	↗	△ 20%	↗	△ 29%	↘	63%	↗	△ 44%	↘	△ 5%	↗
製造業	△ 15%	↗	8%	↗	△ 17%	↗	100%	↗	△ 23%	↗	0%	↗
建設業	△ 46%	↘	△ 54%	↘	△ 31%	↗	46%	↗	△ 54%	↘	△ 8%	↘
小売業	△ 21%	↗	△ 29%	↗	△ 42%	↘	46%	↘	△ 46%	↘	△ 5%	↘
サービス業	△ 22%	↗	△ 6%	↗	△ 21%	↗	65%	↗	△ 47%	↘	△ 7%	↗

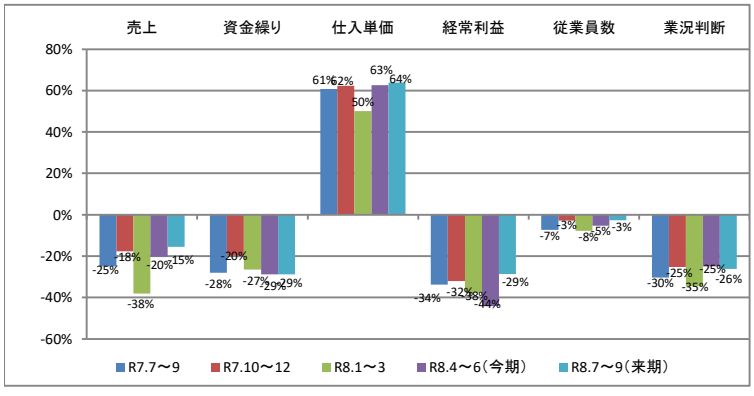
◆産業別業況判断ＤＩ（前３期からの推移と来期見通し）

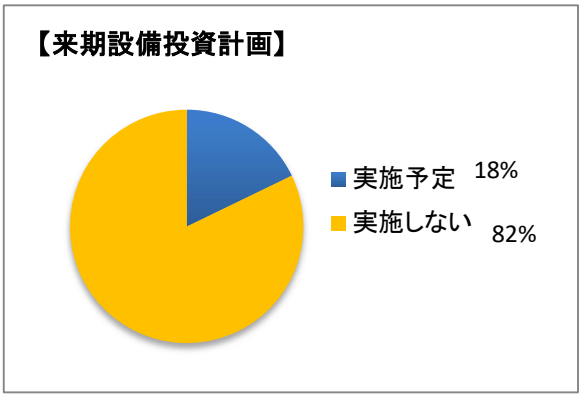


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業ＤＩ項目別比較（前３期からの推移と来期見通し）





◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
１位	原材料価格の上昇	29.0%	材料価格の上昇	21.6%	仕入単価の上昇	20.4%	材料等仕入単価の上昇	16.7%
２位	需要の停滞	16.1%	官公需要の停滞	16.2%	需要の停滞	16.7%	人件費の増加	14.4%
３位	原材料の不足	12.9%	民間需要の停滞	16.2%	消費者ニーズの変化への対応	16.7%	人件費以外の経費の増加	13.3%

※ＤＩとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。